

2024年度
庄内自然エネルギー発電基金協議会助成金

事業報告書

庄内自然エネルギー発電基金協議会

目 次

・ 庄内自然エネルギー発電基金について	1
・ 創設の経緯 ・ 基金助成事業	
 2024年度庄内自然エネルギー発電基金助成事業 報告書(抜粋)	2
 【一般公募者】	
・ 酒田でファイバーリサイクルをすすめる会（SFR）	2
・ ワークスコレクティブ発足準備会	7
・ みんなの居場所 古民家玉手箱	12
・ 日本海企画合同会社	17
・ 遊佐混声合唱団	22
 【共同宣言5者※】	
・ 酒田市	25
・ 遊佐町	40
・ 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会	44
 2025年度(令和7年度)庄内自然エネルギー発電基金助成採択事業	46
2026年度(令和8年度)庄内自然エネルギー発電基金助成事業募集内容	47
2026年度(令和8年度)庄内自然エネルギー発電基金助成事業選考審査委員	48

※共同宣言5者

酒田市、遊佐町、生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、生活クラブ庄内生活協同組合（旧 生活協同組合庄内親生会）
株式会社庄内自然エネルギー発電

庄内自然エネルギー発電基金について

創設の経緯

令和元年5月30日、酒田市、遊佐町、生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、生活クラブ庄内生活協同組合(旧 生活協同組合庄内親生会)、株式会社庄内自然エネルギー発電の5者は、持続可能な庄内地域の未来に向かって連帯し、地域社会づくりに貢献することを目的とした。共同宣言および協定締結を行いました。

この内容は、主要な産地として酒田市・遊佐町と提携の歴史の深い生活クラブ生協グループと庄内の提携生産者等の出資により設立された株式会社庄内自然エネルギー発電が運営する「庄内・遊佐太陽光発電所」の売電利益を、庄内地域の持続可能な地域社会づくりに活用いただきたいとの意向に基づき、その理念と仕組みを明文化したものです。

売電利益の寄附を受けた酒田市は、庄内自然エネルギー発電基金を設立し、5者で協議される共同宣言の理念に基づく事業に対し、活用していくこととしています。

基金助成事業

令和3年2月22日、酒田市を含む上記の共同宣言5者は、協定書の趣旨に基づき、酒田市庄内自然エネルギー発電基金を活用した取り組みの一層の活性化に資することを目的に協議機関を設置しました。

基金協議会(共同代表 酒田市長・遊佐町長)は、令和5年度より持続可能なまちづくりのための事業に助成を開始し、広く一般に公募を行っています。



生活クラブでは原発にたよらない、人と自然が共生する社会をめざして、エネルギーを「減らす」(省エネをすすめるエネルギーの使用を減らす)、「つくる」(自然エネルギーをつくる)、「使う」(自然エネルギーを選択して使う)を柱とするエネルギー政策(生活クラブ総合エネルギー政策)を推進しています。

自然エネルギーを「つくる」活動として、山形県遊佐町で約2年の歳月をかけて建設がすすめられてきた「庄内・遊佐太陽光発電所」の稼働が2019年2月に始まりました。

これを記念して、5月30日に現地見学会とFEC自給ネットワーク構想(*)をテーマとした記念フォーラムが開催されました。

(*)生活に欠かせない「食 (Food)」 「エネルギー (Energy)」 「福祉 (Care)」 のしくみを自分たちでつくりだす社会をめざす構想。内橋克人氏(評論家、旧2012国際協同組合年全国実行委員会・委員長)が提唱。

2024年度庄内自然エネルギー発電基金助成事業報告書(抜粋)

【一般公募者】酒田でファイバーリサイクルをすすめる会 (SFR)

様式第7号(第8条関係)

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	酒田でファイバーリサイクルをすすめる会(SFR)
2 事業名	古着や古繊維の資源化
3 実施期間	R6年4月1日～R7年2月28日
4 事業の目的及び事業概要(事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要)	古着や使い古した布等の繊維類の資源化に向けて、行政の取り組みを知り、市民、行政との成果を明らかにし、課題を解決していく
5 実施した成果(主に住民及び地域社会に対する利益について)	- 行政の取り組み 酒田センター刷新より繊維類のゴミ減量化に期待 - 個人の取り組み 資源回収以前に市民の意識改革が必要、そのための対策として、クラシコとラップ販売でFRの理解が深まった
6 実施結果(おおよその時期、内容、場所及び対象)	●打ち合せ 4/1 「着物のプロジェクト」佐藤さんより聞き取り調査(残った着物の処分は課長共有) 5/30 稲川エリエ担当者(稲川コミュニティセンターにて) 6/3, 4 R7.2実施「着物の講座について」飛鳥 鈴木アキ子さん、渡部陽子さん 6/11 「医療用マスク」と「FR」相互協力体制(地域包括支援センターにいた)池田恵美さん 6/20 酒田市内の協力者紹介のため(男塾にて)仲川さんと 10/18 「たまたま箱」川本さんより聞き取り調査(提供された衣服の処分は課長共有) 10/30, 11/20 次年度企画紙芝居制作について大井氏と(基金室にて) 11/10 - 12/1 SFR定例会(基金室) 6/29, 30 4石町フリマ参加(4石町自治会館) クラシコとラップ販売 7/20 (本室にて) 稲川エリエ参加(コミュニティセンター) 10/20 (酒田) 酒田地区文化祭(酒田学区コミュニティセンター) " "
7 助成金収入以外の収入	0.21エリエ等54軒 みつろうラップ販売 10,900円 0.「飛鳥刺子」参加費 500円×12名 6,000円
8 事業の次年度以降の計画	身近なところから始めるラップ 個人がとるリユース・リペアの普及と資源回収に伴う調査

ファイバーリサイクルってなあに？

家庭で不要になった古着やタオル等をゴミとして捨てずにいろいろな方法で最後まで使い切ることを目指しています。

衣服の約70%が廃棄されているデータがあります(環境省)

調べてみると、環境負荷は

衣服の製造過程で大変大きいことがわかりました。

まずは、大量の水が必要であること、CO2の排出量は廃棄時の3倍！

この現状を踏まえて

市民の「つかう責任」を考えた場合、安易な購入を控える。

いまある衣服は繕いやお直しなどを行い寿命を延ばし、とことん使い切ることを

不要になった衣服を地域循環(必要としている人に届ける)で廃棄を減らすなどを実施していく。

しかし、それにも限界があり衣服以外の繊維類(タオルやシーツ)等も

あることから、最終的には資源回収は必要だと考えています。

年数回の行政回収以外の例えば街中に回収ボックスを設置すること等模索しています

💡ファイバーリサイクルは古着などの衣服

だけでなく毛糸🧶や糸、タオルやシーツなどもその対象です。

それらの活用事例として

- 家庭内で使い切れなかった毛糸🧶を使用しボランティアさんが「医療用マフ」を編み、医療機関に寄贈されている。
- 同じく家庭内で眠っているタオルやシーツなどをバザーで販売、その収益を福祉事務所に寄付されている。
- まだ十分着れる衣服の活用をされている場所もあります。不要になった洋服のコーナーを作り利用者が必要な物を持ち帰りできる。

💖SFRはこのような💖素敵活動を勝手ながら応援させていただいています！

💡お知らせ

布、生地、ハギレ、毛糸を寄贈して頂いています。SFRの主旨に添った活動をされているグループにも必要なものをお譲りしたいと考えています。

ご希望がございましたら、メールで連絡してください。

📢多くの人が自分ごととして、知恵を出し合い衣服等の繊維類は廃棄するものでなく、資源として活用することが当たり前の社会にしたいと思っています。

令和6年度庄内自然エネルギー発電基金助成事業

SFR＊酒田でファイバーリサイクルをすすめる会

＊sakatafre@gmail.com ＊facebook

酒田ナリワイ起業講座卒業生と
ハンドメイド作家によるマルシェ第2弾

こみの持ち帰りにご協力お願いします

はじめのいっぽ マルシェ

11/17(SUN)10:00-15:00

SUZURAN



店主の好きなコト（アクセサリー作り）×好きなモノ（駄菓子）で
初出店します

ち☆とずつ



Nonna e Tre
Cuccioli



さくらん坊の
デザイン工房



即興シルエットデザイン！
子供も大人も一緒に楽しめる
『ファーストアート』

calmplace



手から肘まで片手500円両手1000円
アロマハンドトリートメントします♡

MIMI
MELOCOTON



ビーズ刺繍をメインとした
ビーズアクセサリーを販売してます

酒田でファイバーリサイクル
をすすめる会



ファイバーリサイクルと蜜蜂ラップ?!
ラップの使い捨てをハギレの
活用で問題解決

奥山なつこ



子育てのイライラもやもや…
をひもとく。

カラーセラピーワーク

luz ルース



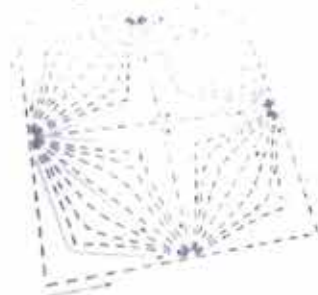
ヴィンテージ
ボヘミアクリスタル
オーナメント&アクセサリー

飛島ガンゼ刺しの体験

コースターをつくる

take good care of things

繕い



刺し子は、農耕に携わる人々の専売特許だったわけではありません。山形県唯一の有人離島、飛島は、酒田港の北西39キロ沖合いに位置します。対馬暖流がやってくるこの島は、昔から農業より漁業が盛んでした。そんな島のことが、刺し子を語る時特質されるのは、浜で働く女性たちによって海産物をモチーフにしためずらしい刺し子が生みだされたからです。

今回はウニがモチーフの「ガンゼ」を刺しながら、衣服を大切に扱っていた原点に立ち返ってみようと思います。
これを機会に、形に拘らず家庭生活の繕いとして自分なりに針を進めて頂けたら幸いです。

2月16日(日)

- 会 場：TOCHiTO交流棟1Fホール
- 時 間：14：00～16：00
- 参加費：500円
- 定 員：10名程度
- 持ち物：定規、まち針、糸切ばさみ、指ぬき(あれば)、裏地(12×12cm)、ボールペン(芯太めが良い)
*裏地は綿のもので、古着等を活用したもので構いません。
思い出のブラウス、ハンカチ等が良いのではと思います。
主催者側でも用意はしています。
- その他：主催者で準備いたします。
- 申 込：酒田でファイバーリサイクルをすすめる会
sakatafre@gmail.com
Tel.09098319831



おしゃべりマフの会

一緒に作りませんか？～



開催日時：毎月第2火曜日：グランパグランマ 13:30～15:00
第4火曜日：地域福祉センター 13:30～15:00

認知症マフって？

イギリスの病院や高齢者施設で認知症の人が使っている円筒型のニット小物、Twiddlemuff(トゥイドルマフ)のことです。

Twiddleとは「(手で)いじる」という意味で、認知症の人がマフの内面や外面、アクセサリーを触ることで、手を温めながら心身の緊張を解きほぐし、安心感を得られます。

認知症は年々増加傾向にあります。認知症の方から、マフを使ってもらい、症状緩和の効果の期待や認知症を知るひとつのツールとしても期待できそうです。



内側にお花がついています♡



マフの作り方のポイント

○マフは筒型の毛糸で編んだものや布でも作成は可能です。どちらも柔らかい手触りが好まれます。アクリルの毛糸は洗濯しやすいメリットがあります。

○サイズは筒直径15cm程度、長さは25cm～40cm程度。

○人形や毛糸のボンボン(5～8cm)等を付ける時はマフから取れないようしっかり縫い付けます。

○ぬいぐるみの生地は、ポリエステルだと丸洗いが可能です。

○筒の中に手で包み込めるような、握めるようなグッズがあるとよいです。

「認知症マフを高齢者の方に使ってほしい！」

地域の方から、「認知症マフって知ってる？」「これなら私もできるから」と声を掛けられました。「誰かのために何かしたい！」その思いを形にすべく、認知症マフを作って病院や高齢者施設に寄贈してみよう、高齢者から使ってもらうことで認知症のことを知っていこう、この活動を通して地域がつながるひとつのきっかけにしていこう、と思っています。編み物や手芸が得意な方、初めて挑戦する方も、一緒になって認知症マフを作ってみませんか？

お問い合わせ

酒田市地域包括支援センター
にいだ

998-0824

酒田市新橋2丁目1-19

☎0234-22-2640

担当

生活支援コーディネーター池田

★太めの毛糸をゆずっていただけませんか？いただけるようでしたら受け取りに伺いますので、包括にいだ迄ご連絡ください♪

【一般公募者】ワーカーズコレクティブ発足準備会

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	ワーカーズコレクティブ発足準備会
2 事業名	TOCHiTO 発いくつになっても誰かの役に立ちたいを叶えるプロジェクト
3 実施期間	2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 2 月 28 日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	<目的> 地域や社会に必要な仕事を担ったり、自分たちで作ったり、一人一人が経営者となって参画していくワーカーズ（労働者協同組合）発足を目指す準備のための活動 <事業概要> ◎ワーカーズ仕組みづくりに賛同してくれる仲間を増やす活動（目標人数は8人） 説明会開催、SNSでの発信など。 ◎事業の柱は、TOCHiTO 入居者や地域の方と一緒に、個人個人が持っているスキルを生かせる仕事の可能性について各方面にヒアリング、調査して決定する。 現時点では、 ①惣菜やお弁当作り ②生活クラブ消費材生産者を中心に、援農業務委託 ③生活クラブ庄内親生会の週1回の消費材配達関連事業 ④固有在来種（じゅんさいなど）の収穫及び自生地域存続のサポート事業委託業務などを検討中です。 ◎組合設立や事業運営方法に関して、行政や商工会議所などによる助成制度支援の調査やヒアリング、学習会開催。調理食品販売に関する申請許可などの調査とヒアリング <効果> ▶TOCHiTO 移住者が仕事を通して、地域住民や仕事仲間とのつながりから、新たな活動や事業展開を生み出せる効果が期待できる。 ▶年間を通じた仕事がない、雇用が安定しないといった地域課題を解消できる事業であり、かつ持続可能で、活力ある地域社会構築の実現に資すると考える。 ▶単なる労働の提供だけではないワーカーズの働きによって、生産者が新たな事業などを生み出す力の一助になりたいと考える。 ▶生活クラブの生産者が多い庄内地域の横のつながりで、現状の資源を生かした新しい展開が期待できる。（規格外野菜の再利用など） ▶ワーカーズは、年齢、性別に関係なく、自らの豊かな暮らしの自己実現を目指し、自分の提供できることで地域や社会に貢献し、その労働に値する対価を得ることができる。 <対象> TOCHiTO 住民、地域及び周辺地域住民、二拠点生活者、移住を検討している生活クラブ組合員など年齢、性別に関係なし。

5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について） ①酒田市の中心街の活性化を目的に開催されている「さかた北前朝市」に出店して TOCHiTO や生活クラブをアピールし、地域住民との繋がりを深めることができた。 ②生活クラブの生産者である JA 庄内みどり（開発米部会）や平田牧場と連携して、首都圏から来る組合員に提供している「庄内弁当」作りに参加して、お弁当を通じてワーカーズ準備会のアピールや「産地で暮らす」「参加する暮らし」の良さを伝えることができた。 ③TOCHiTO の清掃・管理の委託業務や生活クラブ庄内での仕分け・配達業務を担うことで、一年を通して収入を得る基盤ができた。 ④生活クラブ連合会の庄内福祉コミュニティ構想に関する活動を行うための業務委託契約を 10 月締結し、現地見学会に参加する組合員へ説明会や企画のコーディネートを行った。私たちが関わることでより移住のリアルな話や魅力を伝えることができた。 ⑤生活クラブの生産者の人手不足や放棄された柿畑の再生事業のお手伝いを行った。地域の問題を共有し、今後の事業につなげていきたい。 ワーカーズ・コレクティブという新しい働き方を移住者や地域の仲間と準備会という形で模索しながら「産地で暮らす」から「産地で働く」を探ってきた一年だった。いくつになっても誰かの役に立ちたいを叶えるという大きなテーマには至らなかったが、今後の事業展開に一步踏み出す有意義な一年だった。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象） 1) 加入促進 ①さかた北前朝市出店 6 月～11 月第 1 日曜日開催（11 月で今季終了） ②大試食会開催 9/8(日) 参加者 11 名+生産者 2 名(おこし工房)+スタッフ 6 名 ③はじめの一步マルシェへ出店 11/17(日) 於 TOCHiTO 交流棟 1F 2) 庄内弁当づくり 年 8 回参加 3) 生活クラブ庄内の配送仕分け作業 4) TOCO(居住棟)の清掃・管理業務委託 5) 平田牧場の援農 6) 生活クラブ共済連からの現地見学会の委託 ※詳細は別紙
7 助成金収入以外の収入
8 事業の次年度以降の計画 ・ワーカーズ・コレクティブ設立 ・「食」を通じての事業 安心安全なお弁当作り 地域住民への配食サービス 誰でも立ち寄れる居場所づくり ・委託事業の継続 TOCHiTO の清掃・管理 現地見学会の企画コーディネート

令和6年度さかた北前朝市実績報告

出店目的：生活クラブ庄内紹介と消費材試食試飲を通じた加入促進

今年度開催：6月・7月・8月・10月・11月（9月は雨のため中止）、第一日曜日

消費材試食試飲実績

	温州みかんジュース	トマトケチャップ	アイス	飲むヨーグルト	牛乳	ミニコロウィンナー缶
6月2日	115					
7月7日	47	5	32			
8月4日	114	19	55			
10月6日				47		30
11月3日					65	35

生活クラブ庄内加入資料配布状況

	6月2日	7月7日	8月4日	10月6日	11月3日
① 一式渡し	1	7	1	0	3
② 加入用紙以外	15	12	11	13	12
③ カタログ	5	3	1	2	0

① システム・出資金・加入方法を説明、一式（加入用紙・生活クラブガイド・拠点・カタログ）

② システム・生活クラブガイド・拠点・カタログ

③ カタログのみ

◎出店活動には TOCHiTO 居住者も参加。試食や試飲の他、運搬作業にも積極的に手伝ってくれた。

◎令和4年（TOCHiTO 有志）から継続しての出店で、リピーター多くなった。

◎空き瓶を持参してくれる方もあり。

◎酒田市内以外に、三川、鶴岡や遊佐町からもきている。

◎生活クラブ庄内の存在を知らずに、生活クラブやまがた組合員で着払いで消費材購入している人もあり。



庄内弁当作り

生活クラブ神奈川の田んぼクラブに提供するお弁当作りに参加し(平田牧場直営店にて)、将来的にはワーカーズが独り立ちしてお弁当を作れることを目指してスタートしました。

- 実施日 ①5月18日(土) 8:00~10:00 47食
②6月8日(土) 6:30~8:00 22食
③6月22日(土) 8:00~10:00 20食
④7月6日(土) 8:00~10:00 23食
⑤8月8日(木) 8:00~10:00 29食
⑥10月5日(土) 8:00~10:00 30食
⑦11月2日(土) 7:00~9:00 33食
⑧11月26日(火) 8:00~10:00 34食

- ・①~④まで、お昼の会場となるJA庄内みどりまで配送後、ワーカーズ準備会のアピールとお弁当の食材の説明を行いました。



TOCO(居住棟)の清掃・管理業務委託

4月から週1回、当番制で実践しています。

基本的に、掃除は居住者の共有スペースとなっていますが、不在が多い居住者さんや高齢者世帯の居住者さんもありますので、綺麗が保たれるように見回りながら、必要に応じて清掃を行えたと思います。居住者さんからは「いつも綺麗でありがたい」とのお話しもいただきました。



平田牧場農事委託業務について

- ・業務委託経緯：平田牧場顧問である白崎氏より業務委託があったもの
- ・行った時期：4月～12月
- ・おもな作業内容：柿、梅の剪定と剪定後の枝の片づけ
柿の摘花
柿、サクランボの収穫
- ・作業人数：メンバー 2～4 名
- ・作業回数：10 回
- ・作業時間：午前または午後の 3 時間程度

なお、報酬については平田牧場と雇用契約を結び、給料支払日にて各々の口座へ振り込みして頂く。



【一般公募者】 みんなの居場所 古民家玉手箱

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	みんなの居場所 古民家玉手箱		
2 事業名	ぼくたちのふるさと歴史探訪プロジェクト		
3 実施期間	2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 2 月 28 日		
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	子供達や地域の方々と交流を図りながら、地域の歴史、文化、自然や暮らし、産業、災害などを学び、歴史を見つめ直し次世代につなぎ未来に備える。		
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	地元にながら歴史と今の現状など深く考えず生活しているが、昔を知ることによって今の大切さ、先人の苦勞などを知ることができ、感慨深く学ぶことが出来ました。 災害対策などについても共有できたと思います。		
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	1, 6/23 赤川の歴史、洪水被害、新赤川の開削工事。 会場、古民家玉手箱 対象 どなたでも 2, 8/25 砂防林の植林とその後 “ ” 3, 9/22 庄内藩と三方領地替え “ ” 4, 10/12 黒森歌舞伎の歴史と今 “ ” 5, 10/20 砂防林現地見学研修 酒田市～遊佐町 9：00～15：00 “ 6, 10/27 地域の今と昔、 会場 古民家玉手箱 対象 どなたでも 7, 12/7 黒森と玉手箱の歴史 “ ” 8, 7 年 2 月より資料展示の準備始めるが、引き続き次年度に繰り越しとなる。		
7 助成金収入以外の収入	古民家玉手箱への寄付金より充当		
8, 事業の次年度以降の計画	資料のパネル展示は、次年度に継続して展示していきます。 今後も居場所サロンや子ども食堂開催時に、歴史や文化、災害対策、環境問題などについて、みんなでも楽しく学んでいきたいと思っています。		

「悠久の庄内海岸林～大いなる遺産を未来につなぐ～」

庄内砂丘の海岸林は、人間が厳しい自然とのかかわりの中で作り上げてきた大いなる遺産です。そこには、どんなドラマがあったのでしょうか。

庄内砂丘には、砂防植林の歴史を記した石碑が数多く残され、静かに郷土の歴史を伝えてくれています。数百年の時を経て、人知れずひっそりとたたずむ石碑を訪ね、先人の足跡をたどり、地域の宝の価値を再認識してみませんか。

講師：梅津勘一（庄内海岸のクロマツ林をたたえる会会長・樹木医・松保護士）

2024. 10. 20(日) 行程表

着時間	発時間	所要時間	場 所	内 容
	9:00	0:20	玉手箱	受付・開会 出発
9:20	9:50	0:30	酒田市日和山公園 日枝神社西	⑦ 松林銘 本間家の植林 ⑧ 植林碑 無名の人々の植林
10:00	10:15	0:15	万里の松原 フォレストパル脇	⑨ 富樫兼治郎翁顕彰碑 昭和の先人
10:30	10:50	0:20	酒田市宮海字林内 本間ゴルフ酒田工場東	⑥ 植附場之碑 佐藤藤蔵借地山
11:10	11:25	0:15	遊佐町藤崎字一の坪 藤崎郵便局南	③ 藤崎村いしふみ 佐藤藤蔵の植林
11:40	11:55	0:15	遊佐町菅里字菅野 旧菅里中学校北	② 菅野村創立記、曾根原翁墓 曾根原六蔵の植林
12:00	12:50	0:50	道の駅鳥海・ふらっと	昼食休憩
13:00	13:15	0:15	遊佐町吹浦字西浜 西浜キャンプ場内	① 阿部清右衛門翁頌徳碑 西浜の植林、吹浦漁港の改修
14:00	14:15	0:15	酒田市坂野辺新田 八幡神社内	⑪ 坂野辺記念碑 佐藤太郎右衛門の植林
	車中		赤川新川分岐点	赤川の治水 黒森遺跡
14:30	14:50	0:20	酒田市浜中字上村 民具資料館前	⑫ 浜中邨業記念碑・浜中丘林碑 明治の民有林引戻し
15:00			玉手箱	ふりかえり 解散

備考：天候、参加者の体調、時間の遅延等により省略、変更がありうる。

ほくたちのふるさと歴史探訪プロジェクト

黒森歌舞伎の歴史と今

講師 黒森歌舞伎座長 五十嵐良弥氏

2024.10月12日(土)

時間 10:30~12:00

会場 古民家玉手箱

対象 どなたでもどうぞ！

会費 無料

内 容 黒森歌舞伎の始まりは
地域とのかかわり
歌舞伎の年間行事について
歴史と今後の課題
ポーランド公演のビデオ鑑賞とお話

申込み・問合せ 090-7521-5143(小林)

最上川、赤川の歴史研修



地域の災害の歴史勉強会





庄内砂丘と砂防林の研修



砂防林の現地見学研修



様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	日本海企画合同会社
2 事業名	庄内遊 YOU 米おこしの新商品開発
3 実施期間	2024年4月1日 ～2025年2月28日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	本事業では、遊佐町の伝統菓子である「庄内遊 YOU 米おこし」を、現代のニーズに合わせた新商品として研究開発します。 その際、生活クラブの皆さまの意見を積極的に取り入れ、試作と改良を重ねながら、親しみやすく地域の特産品、そして新たな消費材づくりを進めます。 これにより、製造者の視点だけでなく、消費者目線での商品が出来上がる事と思っています。 最終的には、幅広い世代に受け入れられる新たなおこしの魅力を創出することを目指しています。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	遊佐町の道の駅「鳥海ふらっと」にある「ひまわりの会」の売り場で、初回の少量生産分の販売を開始しました。これにより、地域の方々に商品を直接手に取っていただく機会が生まれ、地元の活性化に寄与しています。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	事業内容の詳細は、別紙レポート参照。 生活クラブへ出荷を目指す消費材としては生活クラブ神奈川副理事長の籠嶋様と来年度も継続して研究開発を共同で行うことを確認しております。来年度（2025年4月以降～）内に方向性を決めたいと思います。 《ブルーベリー味、珈琲味、みかん味販売開始（地元販売用）》 前段のように①ブルーベリー味、②珈琲味、③みかん味3種を試験的に販売の開始をしました。 今後ですが、既存商品5味セット（いちご・ココア・ごま・ラフランス・カレー）の販売をしていますが、その中の原材料「ラフランス」パウダーの製造が中止される事が決まっており、その代替えとして、今回開発して評判が良かった「ブルーベリー」（遊佐食彩工房産）を5種セットに採用し、セット用パッケージデザインに変更して、販売を開始して行きたいと思います。（販売先：山居館（庄内みどり農協）・道の駅鳥海ふらっと・ト一屋・郵便局） 更にSNS（Instagram）を立ち上げ、ネットショップを開設しました。こちらでも情報発信を通じ、たくさんの方とのつながりを作っていきたいと思っています。

7 助成金収入以外の収入

生活クラブ神奈川「東日本大震災・復興まつり 2024」に参加し消費材販売利益 56,800 円

道の駅鳥海ひまわりの会で販売開始（ブルーベリー、珈琲、塩）し、初回販売分 15 個完売（675 円）。

8 事業の次年度以降の計画

生活クラブの消費材に関しては、引き続き研究開発を生活クラブ神奈川の皆さまと行っていきます。

地元販売に関しては 2025 年 4 月から地元スーパーマーケットであるトー屋と酒田東泉町郵便局で販売する事が決まっているため、新たな地元販売先の皆さまと一緒に商品開発を継続していき、また新たな庄内遊 YOU 米おこしの魅力を地域の人たちに提供出来ればと思います。

庄内遊YOU米おこしの新商品開発

01

日本海企画合同会社（おこし工房）



塩谷 弘文



《時系列報告書》

6月17日（庄内協議会後開催）

- ・三者共同での商品開発を行う事を確認。
- ・おこし工房（日本海企画）側から既存商品サンプル品を生活クラブ側に説明および試食品提出。

6月20日～7月20日（遊佐町（おこし工房内）開催）

- ・社内で新商品について検討、試作実施。新たな取引業者として遊佐食彩工房と素材について検討。既存取引業者萬国珈琲からコーヒーパウダー入手。

8月30日（遊佐町（おこし工房内）開催）

- ・おこし工房で開発した新商品サンプルを提出（①ブルーベリー②珈琲③塩）
- ・生活クラブ、遊YOU米生産者側からの提案で新商品に関してお菓子というイメージではなく、「非常食」や「甘くないおこし」の提案があり、おこし工房側も了承。

9月8日（酒田市（Tochitoイベント内）開催）

- ・試食品を持ちイベントに参加させて頂き、試食者からヒアリングを実施。

9月20日（遊佐町（JA庄内みどり遊佐支店内）開催）

・遊YOU米生産者、おこし工房両者で「甘くないおこし」の固め方（調理方法）について検証実施。

→ 固め方について「ポンせんべい機」のような形で成形出来ないか？機械購入を検討。

10月1日～10月25日（遊佐町（おこし工房内）開催）

・社内で新商品について検討、試作実施。

11/22(神奈川にて開催)

デポ内でスタッフの方、遊YOU米生産者と協議。

・柑橘系のおこしが無いので、「甘くないおこし」としてどうか？

→遊YOU米生産者、おこし工房側で検討。

11月23日

・遊YOU米生産者から「ポタジェ」を紹介。視察検討実施。

11月26日（庄内協議会内で協議）

・生活クラブ、遊YOU米生産者側と「ポタジェ」について情報交換。

・「ポタジェ」についての現地視察を依頼。

2月3日（生活クラブ（鶴澤様）と「ポタジェ」現地視察）

・柑橘系パウダーの製造、取引方法について検討。試食を行う。先に試作済みのブルーベリー、珈琲、塩の遊佐町道の駅ひまわりの会で販売開始。全15個完売。

2月5日（遊佐町（おこし工房内）開催）

・おこし工房内にて柑橘系のおこしのサンプル製造を3月から開始（予定）

・4月頃に生活クラブへ提出（予定）

3月以降～（社内活動）珈琲、塩味用定常出荷分として原材料仕入れ開始。4月から通常販売開始（予定）（※ブルーベリーは既存商品のセット販売を検討）



【新規取引先】
遊佐食彩工房



【商品開発検討】
瀬谷デポ



【ヒアリング先】
Tochito



【新規取引先（予定）】
ポタジェ

《試作について》

①試作第1回（基本レシピの作成）

- ・原材料の選定（地元産素材をメインに）

商品開発にあたり、元々の取引業者である酒田市の萬国珈琲様とのご縁があったことから、当初より珈琲味を候補に入れていました。その後、同じ遊佐町にある遊佐食彩工房様をご紹介いただき、相談の上、ブルーベリー味のおこしを開発することになりました。

1回目の試作では、珈琲味には玄米、ブルーベリー味と塩味には白米が適していることが判明し、それに基づいて試作を進めることを決定しました。さらに、生活クラブの皆さまと意見交換を重ねる中で、柑橘系のフレーバーも追加することになり、こちらも白米で試作を行うこととなりました。

②試作第2回（改良）

- ・配合バランスの調整

③試作第3回（最終調整）

- ・試食を実施し、味・食感・見た目を調整。パッケージやデザインの選定。（今後：販売戦略の最終調整）



選別作業



調理



型入れ・カット

完成品



様式第 7 号（第 8 条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	遊佐混声合唱団
2 事業名	遊佐混声合唱団×江上孝則演奏会「遊佐讃歌」
3 実施期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 12 月 31 日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	・ 2022 年に遊佐混声合唱団の設立 50 周年を記念して、以前より縁のある江上孝則氏に作詞・作曲を委嘱した作品「遊佐讃歌」の、作者による初演公演を実施した。 ・ 「遊佐讃歌」は混声 4 部合唱曲であり、川岸の桜、田畑を育む清流、冬の日本海と十六羅漢、長年続く文化交流を歌っており、遊佐町の豊かな自然を伝えている。遊佐讃歌を歌い継いでいくことで、遊佐町の自然や文化交流を次世代に繋いでいくことを目的とする。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	・ 遊佐混声合唱団のメンバーは主に遊佐町や酒田市、にかほ市から構成されているが、地方においてプロの指揮者から合唱を学ぶ機会は貴重であり、非常に良い経験となった。 ・ 作詞、作曲を手掛けた江上氏のレッスンを受け、指揮をしてもらうことで、より作品の理解が深まり、遊佐讃歌で表現している遊佐町の自然や文化交流を聞き手側に伝えることができた。 ・ 遊佐町子ども合唱団スマイルキッズと一緒に歌うことで、子どもたちに一流の指揮で歌う機会を創出し、音楽の楽しさや豊かさを学ぶことができた。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	○指揮者江上孝則氏によるレッスン ① 6 月 22 日（土）28 名参加 23 日（日）32 名参加 ② 9 月 14 日（土）28 名参加 15 日（日）30 名参加 ③ 10 月 19 日（土）27 名参加 20 日（日）26 名・スマイルキッズ 15 名参加 ④ 11 月 16 日（土）演奏会前日練習 32 名・スマイルキッズ 12 名参加

<レッスンの様子>



○遊佐讃歌を町内外の方から聞いてもらう機会

- ① 8月1日（木） 遊佐町合併70周年記念式典にて、江上氏指揮による遊佐讃歌の演奏を予定していたが、7月25日の豪雨災害で式典は延期となった
- ② 上記の記念式典に合わせて遊佐町役場の電話保留音を遊佐讃歌に変更した
- ③ 8月25日（日） 遊佐町音楽祭にて遊佐讃歌を演奏した
- ④ 令和7年2月21日（金） 延期していた遊佐町合併70周年記念式典にて江上氏指揮で遊佐讃歌の演奏を予定している

○遊佐混声合唱団 第47回定期演奏会

日時：令和6年11月17日（日） 開場13時30分 開演14時00分

場所：遊佐町生涯学習センターホール

指揮：江上孝則

合唱：遊佐混声合唱団、遊佐町子ども合唱団スマイルキッズ

曲目：遊佐讃歌（作詞・作曲 江上孝則）、未知という名の船に乗り、未来へ、このうるわしき大地に（ジョン・ラター）、アヴェ・マリア（ルッツィ）他

入場者数：321 名

・演奏会の最後に、江上氏の指揮で遊佐混声合唱団と遊佐町子ども合唱団スマイルキッズで遊佐讃歌を演奏した。

・曲に合わせて、遊佐町出身のカメラマン繁田久美子氏の撮影した町内の美しい風景写真や、40 年続くハンガリーとの交流の歴史をたどるスライドショーを実施した。

<演奏会当日>



7 助成金収入以外の収入

- ・入場料収入 214,500 円（一般@500×429 枚）
- ・遊佐混声合唱団会計から 312,813 円

8 事業の次年度以降の計画

- ・町内外で「遊佐讃歌」を歌い継いでいくことで、遊佐町の豊かな自然や文化を多くの人に伝えていく
- ・今後も海外や町外と交流を活発に行い、交流人口を増やしていく

2024年度庄内自然エネルギー発電基金助成事業報告書(抜粋)

【共同宣言5者】酒田市

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業活動報告書

1 団体名	酒田市
2 事業名	ナリワイコンベンション事業
3 実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和6年12月31日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	令和5年度に庄内自然エネルギー発電基金協議会からの助成をいただき実施した、ナリワイプロジェクトの取り組みは、庄内の各地域から受講した10名の卒業生を輩出した。このナリワイプロジェクトは、生活クラブ生協との連携事業で講演頂いた藤村靖之氏の提唱する3万円ビジネスと呼ばれる仕組みを土台とし、持続可能な小さなビジネスと地域の困りごとを掛け合わせながら、地域で自分事として動き出す人々を増やす取り組みである。 受講生のアンケートによれば、今後はナリワイ講座の卒業生や、実践している方々と繋がっていききたいとの声が寄せられ、令和5年度の取り組みを発展維持していくために、ネットワークづくりが必要と考えており、他地域のナリワイ活動を行う方々を呼び込むコンベンション事業を行うことで、受講生が全国の実践者とネットワークを作るとともに、庄内地域での活動への理解が広がるものと考えている。また各地域において、ナリワイ活動のように地域のことを自分事として取り組む人材が庄内地域に訪れることで、庄内との関係をつくり将来的な移住検討層につながることも効果として期待される。コンベンション事業の内容としては、こういった活動のプラットフォームを形成している「わたしごとJAPAN」と連携し、全国の実践者の事例発表や同団体の活動を推薦している有識者の講演会などを組み合わせ、ナリワイ事業の卒業生にとどまらず、庄内地域で活動している様々な個人・団体とつながる機会を創出し、自分事として地域で活動する個人・団体の活動の活性化に資する取り組みとしたい。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	本プロジェクトにおいて、令和5年度のナリワイプロジェクトの受講生が全国の実践者とネットワークを作るとともに、庄内地域でのナリワイ活動への理解が広がることを狙いとして、コンベンション事業「わたしごと万博 in SHONAI」を開催した。 開催に当たっては、1回限りのイベント事業とならないよう、事前のワークショップを3回開催することで、ナリワイプロジェクトの受講生が全国の実践者と対話し、ネットワークを作る機会を醸成した。また、9月29日のイベント当日は全国からのナリワイ実践者と、その活動に興味のある地域住民合わせて90名がイベント会場に集い交流し、ネットワークづくりを行った。 今回の取り組みを通じて、ナリワイ事業の卒業生にとどまらず、全国各地で活動している様々な個人・団体同士がつながる機会が創出されるとともに、当該地域におけるナリワイ活動への理解が深まる一端となったと考える。

6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）

第1回 ワークショップ（WEB） 参加者 18 名

第2回 ワークショップ（WEB） 参加者 15 名

第3回 ワークショップ（TOCHiTO 交流棟） 参加者 20 名

わたしごと万博 in SHONAI （東北公益文科大学 公益ホール） 参加者 90 名

※詳細は別紙「わたしごと万博 in SHONAI」報告書参照

7 助成金収入以外の収入

当該イベントの参加者からは参加費として 500 円・昼食代として 1,500 円を徴収し、イベントを開催した。

8 事業の次年度以降の計画

ナリワイ活動の考え方を基礎として、ワーカーズの実践に向けた活動が活性化してきていることから、本市地域におけるワーカーズの実践に向けプレイヤーとの連携を深めていく。

▽『わたしごと万博 in SHONAI』動画

<https://youtu.be/vjVIF5zS3GE> (youtube限定公開)



動画QRコード



▼事業の目的：

令和5年度の「ナリワイ講座」卒業生にとどまらず、庄内地域で活動している様々な個人団体とつながる機会を創出し、自分事として地域で活動する個人・団体の活動の活性化に資するとともに、庄内地域での活動への理解と広がりを期待する。

ナリワイ活動のように地域のことを自分事として取り組む人材が庄内地域に訪れることで、庄内との関係をつくり将来的な移住検討層につながることも効果として期待される。

※わたしごと＝「好きなこと」と「地域にいいこと」を掛け合わせたソーシャルビジネス、月3万円程度の利益をめざす。ナリワイ・3ビズ・小商いなどの名称で全国に広がっている

▼実施概要：

1.社会的インパクト可視化ワークショップ（全3回）

目的：全国で「わたしごと講座」を主催するメンバーが、講座の社会的インパクトを可視化する（わかりやすい啓発ツールを作成）。それにより、今後、庄内地域はもとより、全国にこの活動を広げ、主体的に地域づくりに関わる人を増やすことをめざす。

日時：1回目 2024年8月28日（水）20：00～22：00／オンライン

2回目 2024年9月11日（水）20：00～22：00／オンライン

3回目 2024年9月11日（水）20：00～22：00

／会場 TOCHiTO 交流棟（酒田市千石町1丁目12）

対象者：わたしごとJAPAN オフィシャルメンバー

山形県庄内地域のわたしごと実践者

2.わたしごと万博

キャッチコピー：ローカルな暮らしと経済を「わたしごと」にする1日。

日時：2024年9月29日（日）10：30～15：30

場所：東北公益文科大学 公益ホール（酒田市飯森山三丁目5番地の1）

対象者：希望する方、どなたでも

3.運営体制

わたしごと万博実行委員会を立ち上げ、運営する。

▼実施詳細：

1.社会的インパクト可視化ワークショップ

○目的：

わたしごとJAPANの活動の意味・意義が市民や行政に明確に伝わる状態をつくる

メインファシリテーター：長友まさ美さん／& PUBLIC（アンドバブリック）代表取締役

サブファシリテーター：桑原憂貴さん／& PUBLIC共同代表取締役

<https://andpublic.jp/>

【1回目】

○日時：2024年8月28日（水）20：00～22：00（オンライン）

○対象者：わたしごとJAPANオフィシャルメンバー

○参加者：18名

熊谷由美（やどりぎ/葛巻）、工藤明日香、成田昌代、菅原清香（由利本荘/ナリワイはじめの一步）、井東敬子（鶴岡ナリワイプロジェクト）、菅原明香（ナリワイALLIANCE）、青木啓介（公務員Shiftプロジェクト）、坂本静香（芽から樹/新庄）、岡田利子、平澤理恵子、城田綾子（みのわ小町/群馬）、今野由香里、綿引遙可（小商いやッテミレバ/下諏訪）、大平香織（小商い講座/飯綱）、喜田亮子（町田地域活動サポートオフィス）、矢口真紀、木村裕子（わたしたちの月3万円ビジネス/埼玉）、高田亜実（はねすと/羽生）

○ゴール：すでに起きている望ましい変化を可視化する

○内容：以下の3点を対話し、付箋にまとめる

- ①講座の結果、すでに生まれている「望ましい変化」を共有する
- ②その「望ましい変化」を関係者ごとに整理する
- ③その「望ましい変化」が起きるまでに、どんな変化が必要だったのかプロセスを整理する

○事前課題：

- ①講座の受講生や卒業生の変化
- ②講座があることで起きているまちの変化などについて
- ③あなたが特に嬉しかった変化

【2回目】

○日時：2024年9月11日（水）20：00～22：00（オンライン）

○対象者：わたしごとJAPANオフィシャルメンバー

○参加者：15名

工藤明日香、成田昌代、菅原清香（ナリワイはじめの一步/由利本荘）、井東敬子（鶴岡ナリワイプロジェクト）、菅原明香（ナリワイALLIANCE）、坂本静香（芽から樹/新庄）、岡田利子、平澤理恵子、城田綾子（みのわ小町/群馬）、今野由香里、綿引遙可（小商いヤッテミレバ/下諏訪）、大平香織（小商い講座/飯綱）、矢口真紀（わたしたちの月3万円ビジネス/埼玉）、菅井幸子（オシゴト/行田）、高田亜実（はねすと/羽生）

○ゴール：望ましい変化を測定し、外部に発信できるようにする

○内容：以下の3点を対話

- ①1回目で整理した活動がうみだす望ましい変化を改めて確認する
- ②生まれた変化が、地域にどんな波及効果をうみだしているかを考えてみる
- ③どんな指標でそれを測れるかを考えてみる（アイデア出し）



【3回目】

○日時：2024年9月28日（土）14:00-17:00（3h）

○会場：TOCHiTO・交流棟（酒田市千石町1丁目12-38）

○対象者：わたしごとJAPANオフィシャルメンバー

山形、由利本荘の卒業生のうち講座運営に関心がある人

○参加者：20名

熊谷由美（やどりぎ/葛巻）、工藤明日香、菅原清香、成田昌代（ナリワイはじめての一步/由利本荘）、井東敬子（鶴岡ナリワイプロジェクト）、菅原明香、池田文子、阿部暁子（ナリワイALLIANCE/庄内）、坂本静香（芽から樹/新庄）、田端智子（館林）、岡田利子、平澤理恵子、城田綾子（みのわ小町/群馬）、今野由香里、綿引遙可（小商いヤッテミレバ/下諏訪）、大平香織（小商い講座/飯綱）、山根香織、原敬子（町田地域活動サポートオフィス）、矢口真紀、齋藤みずほ（わたしたちの月3万円ビジネス/埼玉）

オブザーバー：酒田市役所 2名、事務局：菊池麻里子、田中恭子

○ゴール：応援者や活動者など一緒に動く仲間をふやす

○内容：

- ・社会的インパクト、ロジックモデルのガイダンス
- ・上記をどうやって今後活用して、事業の力に変えていくかの視点共有
- ・現時点のロジックモデルがどんなふうにつくられたのかを共有
- ・ロジックモデルのアップデート箇所についてみんなで対話する
（受講生の変化、卒業生のその後の変化、地域への波及効果の観点から）
- ・フィット感のある表現のブラッシュアップ（講座の経験別に別れて実施）



2.わたしごと万博 in SHONAI

ローカルな暮らしと経済を「わたしごと」にする1日。

○日時、会場：2024年9月29日（日）10：30～15：30

東北公益文科大学 公益ホール（酒田市飯森山三丁目5番地の1）

○主催：わたしごとJAPAN／酒田市

○運営：わたしごと万博実行委員会（委員長 井東敬子）／鶴岡ナリワイプロジェクト
山形県庄内地方にナリワイ起業家を生み出し「自分のほしい未来は、自分でつくる」
仲間を増やしています。

平成29年度 山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰チャレンジ賞 受賞
令和6年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰

<第1部 わたしごとトークショー>

新しい働き方「わたしごと」を知っていただくためのトークショーを開催。

埼玉で講座を受講後、実際にお店を持ったりイベントを開催したりまで成長した方々が自身のサンビズを紹介しました。

・会場：公益ホール 大ホール

・時間：10：30～12：20

・参加費：お一人500円（学生以下無料）

・参加人数：91名（名簿は別紙）

・プレゼンター：矢口真紀氏 choinaca合同会社/わたしごとJAPAN 共同代表

『わたしたちの月3万円ビジネス』を通して、埼玉県を中心に400名以上の仕事づくりをサポート。全国で講演活動を行いながら、コミュニティ拠点『ひとつ屋根の下』で100人でつくる商店街の形を実験中。



＜第2部 わたしごと体験プログラム＞

●わたしごと見本市

それぞれの地域で実践している事例の紹介や、地域で生まれた商品が各地区ごとのブースに陳列され、個性あふれる展示が並びました。

遠方からの参加者が他の地域の商品を購入したり、成り立ちや説明を聞いたり、ふらっと立ち寄った地元の方がお買い物したり、交流が深まりました！

・会場：公益ホール1階 中研修室

・時間：12：30～15：30

・参加地域：葛巻（岩手）、由利本荘（秋田）、鶴岡（山形）、酒田（山形）、新庄（山形）、南相馬（福島）、下諏訪（長野）、飯綱（長野）、館林市（群馬）、箕輪（群馬）、町田（東京）、杉戸・宮代（埼玉）、草加・上里（埼玉）、行田・熊谷（埼玉）



●プログラム① わたしごとアイデアセッション

参加者のわたしごとアイデアを生み出すレクチャーと体験会を実施。実践者とこれから始めたい人が入り交じって話し合うことで、個性豊かなアイデアが生まれました。

- ・会場：公益ホール1階 中研修室
- ・時間：13：30～15：30
- ・参加費無料
- ・参加人数：44名（名簿は別紙）
- ・進行：矢口真紀氏、choinaca合同会社メンバー3名
- ・運営：わたしごとJAPAN 埼玉チーム



●プログラム② 公務員とわたしごと

わたしごとに関わる公務員が「やらねばならない」を「やりたい」に変えた事例をシェアし、みんなで働き方について語り合いました。

・会場：公益ホール2階 中研修室

・時間：13：30～15：30

・参加費無料

・参加人数：26名（名簿は別紙）

・ゲストスピーカー：

中山成菜さん（静岡県 牧之原市役所）

門脇紗穂さん（秋田県 由利本荘市役所）

坂本静香さん（山形県庁）

青木啓介さん（山形県庁） 進行

・運営：公務員Shiftプロジェクト

自分・地域・組織を楽しく自分事にして、自分も、地域も、職場もHAPPYの三方よしを実現するため、自分の希望する生き方・働き方に“Shift”できるよう安心安全な、きっかけ・出会い・学びの場を提供している



*『ランチタイム』庄内の母ちゃんごはん

庄内の秋の味覚である芋煮・玉こんにゃく・新米のランチを予約販売。

県外からの参加者に地元の旬の食材を提供し、大変喜ばれました。天候にも恵まれ、屋外で食事をされる方もいました。

- ・提供時間：12：30～13：30
- ・事前予約制 税込1500円
- ・発注先：ポプラの木（酒田市広野）

令和2年11月設立。現在5人で活動。毎週金曜日を「お弁当の日」と設定し、広野地区を中心とした企業や個人に仕出し弁当を提供している。メンバー全員が農業に携わり弁当の「ごつつお」は各家庭で栽培した自家野菜を使用。



*英語あそびコーナー

体を使った遊びや、英語の絵本の読み聞かせで、赤ちゃんから小学生まで親子一緒に楽しみました。お子様連れの参加者に好評でした。

- ・会場：公益ホール 大ホール
- ・時間：13：30～14：30
- ・参加費無料
- ・参加人数：10名
- ・運営：あかるさかおる（三川町）ナリワイALLIANCE代表／全国通訳案内士



▽社会的インパクトワークショップまとめワークシート

Ver.0.2: 2024/9/9 : ロジックモデル案

わたしごととJAPAN



事業活動 (アクティビティー)		直接的結果 (アウトプット)		社会的インパクト	
初期アウトカム		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果 (アウトカム2)		中期アウトカム		長期アウトカム	
後続の結果					

▽社会的インパクトワークショップまとめ・普及版（チラシデータ）



*わたしごとJAPANのWEBサイトに掲載予定

ローカルな暮らしと経済を「わたしごと」にする1日。

わたしごと 万博 in SHONAI

わたしのしごと、わたしごと
まちのことまで、わたしごと

「わたしがやりたい!」を起点にした小さな仕事から
暮らすまちを元気にする新しい働き方があります。
それは、稼ぐだけではない、
暮らしと地域をつなげる新しい「しごと」の形。

わたしごとを実践する人、はじめたい地域、
応援したい人たちがつながって
ローカルな暮らしと経済を
「わたしごと」にする1日を過ごしませんか？

2024
9/29 日
10:30 ~ 15:30

会場：
**東北公益文科大学
公益ホール**
山形県酒田市飯森山3丁目5-1
ご予約は裏面をご確認ください



Google Map



4 ● 体育館
355 ● グラウンド
P ● 公益ホール

第1部 わたしごとトークショー
10:30~12:20 参加費：500円
会場：公益ホール（大ホール）

第2部 わたしごと体験プログラム
13:40~15:30 参加費：無料
会場：公益ホール内1階・2階 中研修室

主催 わたしごとJAPAN／酒田市 運営 わたしごと万博実行委員会／鶴岡ナリワイプロジェクト この事業は、庄内自然エネルギー発電基金の助成を受けて実施します。

第1部

わたしごとトークショー (予約優先)

10:30~12:20 会場: 公益ホール (大ホール)
参加費: 500 円

「わたしが変われば、まちが変わる」

埼玉の実例を通して、わたしごとを生み出した人とまちの変化をリアルレポート! 仕事のメガネをかけかえるヒント満載のトークライブです。



プレゼンター:
矢口真紀
choinaca合同会社

『わたしたちの月3万円ビジネス』を通して、埼玉県を中心に400名以上の仕事づくりをサポート。全国で講演活動を行いながら、コミュニティ拠点『ひとつ屋根の下』で100人でつくる商店街の形を実験中。



ランチタイム

12:30~13:30
「庄内の母ちゃんごはん」
1500 円 (税込)

芋煮や新米の庄内ランチが予約できます。ご希望の方はフォームよりどうぞ!
(提供: ぼぶらの木)

50食限定
予約制



第2部

わたしごと体験プログラム (予約優先)

13:40~15:30 参加費: 無料

わたしごとを体験する2つのプログラム。①か②を選択いただきご参加ください。

ABC

<お子様連れの方へ>

乳幼児から親子一緒に参加できる、わたしごとメンバーによる英語体験コーナーもあります! (予約不要)

実施時間: 13:30~14:30
参加費: 無料

体験プログラム① 定員 50 名

「わたしごとアイデアセッション」

わたしごとのタネを見つけよう! 参加者のわたしごとアイデアを生み出すレクチャーと体験会へようこそ。スモールビジネスに興味がある方、やってみたい方、実践者と交流したい方はぜひ!



体験プログラム② 定員 30 名

「公務員とわたしごと」

働き方を見直そう! 公務員や学生、公民連携を模索する方へ。わたしごとに関わる公務員が「やらねばならない」を「やりたい」に変えた事例をシェアし、みんなで働き方について語り合います。



会場: 公益ホール内 2階 中研修室

進行役: 公務員Shiftプロジェクト 青木啓介 (山形県庁)

ゲスト: 中山成菜さん (静岡県秋之原市役所) / 門脇紗穂さん (秋田県由利本荘市役所) / 坂本静香さん (山形県庁)

公務員Shiftプロジェクトとは?

自分も、地域も、職場もHAPPYの三方よしを実現するため、自分の希望する生き方・働き方に「Shift」できるよう安心安全な、きっかけ・出会い・学びの場を提供しています。

会場: 公益ホール内 1階 中研修室
進行役: わたしごとJAPAN (埼玉チーム)

展示ブース

わたしごと見本市

実施時間: 13:30~14:30

全国のわたしごと実践者の商品やサービスに触れる展示コーナー。

会場: 2階 中研修室

参加予定地域: 鶴岡・酒田・新庄 (山形)、由利本荘 (秋田)、箕輪 (群馬)、南相馬 (福島)、杉戸・宮代・行田 (埼玉)、町田 (東京) など



◀お申込みはこちら

ご予約は全てこちらのフォームから必要事項をご記入の上お申し込みください。

詳細

鶴岡ナリワイプロジェクト

詳細情報はこちらで随時更新しています。



FaceBook

<問い合わせ>

わたしごと万博実行委員会
実行委員長 井東敬子

nariwai.mg@gmail.com

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業活動報告書

1 団体名	遊佐町
2 事業名	遊佐町共存の餅加工場整備事業
3 実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和6年11月20日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	・事業継続が一時途絶えた餅加工製造を町内事業者が継承する取り組みを、町の共同宣言推進事業として位置づけて支援する。雇用創出、加工技術の継承、6次産業の担い手育成を目的に小学校の空き校舎を活用して持続可能な餅加工が可能な貸工房を整備する。加工用に町内の餅米を使用することで餅米生産を維持し、持続可能な町の農業を実現する。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	・貸工房の整備で餅加工製造が可能となったことで、減少傾向の町内の餅米生産が回復し、次世代に田園風景を受け継ぐことと、原材料生産と6次産業化の理想的なサイクルを地域内で実現し、地域農業者への支援と後継者確保に繋がった。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	事業概要：空き校舎を改修した餅加工製造を主な目的とした貸加工場の整備 金額：30,000,000 円 補助金額：29,959,930 円 × (1/2) ≒ 14,979,000 円 整備時期：令和6年4月～11月 実施場所：遊佐町旧藤崎小学校調理室とランチルーム 4月～8月 改修設計 8月27日～11月20日 改修工事・完成検査 【対象事業分野】（交付要綱第3条の当てはまる項目を記入） （2）農畜林水産物ほか食料生産の振興を図る新たな取り組み
7 助成金収入以外の収入	・遊佐町予算
8 事業の次年度以降の計画	・餅加工製造を稼働し、地元商店とデポ等での販売を開始する。生活クラブ連合会の消費材製造を目標とする。

製造室(天井(照明)、壁、床、水道、電源設備等の改修)

洗米場

※機械・設備は貸加工場利用者で整備



製造室(天井(照明)、壁、床、水道、電源設備等の改修)

餅つき機、炊飯器

※機械・設備は貸加工場利用者で整備



製造室(天井(照明)、壁、床、水道、電源設備等の改修)

餅切り機

※機械・設備は貸工場利用者が整備



梱包室(天井(照明)、壁、床、水道、電源設備等の改修)

※機械・設備は貸工場利用者が整備



梱包室(天井(照明)、壁、床、水道、電源設備等の改修)
※機械・設備は貸加工場利用者が整備



梱包室(天井(照明)、壁、床、水道、電源設備等の改修)
※機械・設備は貸加工場利用者が整備



様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	生活クラブ事業連合生活協同組合連合会
2 事業名	庄内協議会高タンパク飼料用米栽培試験
3 実施期間	2024年4月1日～2025年2月28日
4 事業の目的及び事業概要(事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要)	【対象事業分野】農畜林水産物ほか食料生産の振興を図る新たな取り組み 庄内において耕畜連携による水田機能維持と国内自給飼料の推進、庄内豚のブランド化に寄与する畜産飼料としての飼料用米について、輸入トウモロコシ代替のみならず、主要な成分値であるタンパク値を高めることで、輸入大豆油粕も含めた海外に依存しない飼料用米の生産と豚肉生産の推進を地域の関係機関、耕畜連携による関係団体により進め県内外消費者への庄内産豚肉の価値を高める。 2023年度は、耕作者による高タンパク値飼料用米生産栽培技術試験の検証、2024年度は耕作者による高タンパク値飼料用米生産栽培技術試験とその飼料用米による豚肉生産における優位性について検証する。
5 実施した成果(主に住民及び地域社会に対する利益について)	① 高タンパク値試験栽培 - 遊佐、酒田地区8名飼料用米試験栽培田8.899haと11.228haの対象区において、飼料用米専用品種「ふくひびき」における3区分での施肥設計を変えた栽培試験を実施。高タンパク飼料用米生産技術の通常栽培との比較検証を行った。試験区および対照区サンプルを日本食品分析センターへ分析依頼。その結果、分析の結果、試験区のCPは現物7.3%、乾物8.5%、対照区のCPは現物7.0%、乾物8.2%であった。試験区別の結果は、酒田試験区:現物7.7%、乾物9.0%、遊佐楽々軽助くん:現物7.1%、乾物8.3%、超室素543:現物7.2%、乾物8.5%、栃木専用種:現物6.7%、乾物7.9%、という結果であった。 - 試験区と対照区の数値を比べた場合、試験区の方が若干CP値が高いが、1%以下の差であった。前回の試験時より差が少なかったが豪雨圃場浸水、種子の高温影響、倒伏可能性等の条件によるところの中で地域での普及に現実的な施肥・作業パターンとして一発肥料に注力し肥料価格が高くなっていることによるコスト影響に対し、生産コストについて一発肥料を使用することで作業量が削減されていることの検証ができた。 - 庄内における約590名1,500haの畜産飼料としての飼料用米作付けの価値創出への先駆的な試験として位置づけられる。 - 米のタンパク値を上昇させて飼料適性を高め、輸入依存度の高い大豆粕を少しでも削減する自給率の向上 - 高タンパク化と同時に多収化を図ることで、生産調整品目として飼料用米の作付け面積拡大ができない中で飼料用米の数量確保につなげる ② 庄内産豚肉生産 - 今年度初めて高タンパク飼料用米を使用した肥育豚への給餌試験を実施した。 - 今年度は大雨・洪水被害等あったものの、遊佐、酒田地区双方の試験区より予定の数量の54,204.3kgを確保できたため、計画通り、庄内産肥育豚約500頭規模での給餌試験を実施中。肥育豚飼料への45%配合による肥育豚生産における成育状況を確認した。 - 庄内産豚肉生産における庄内産銘柄豚生産とその庄内産飼料の利活用における国内自給を高める意義について検証した。 また、輸入大豆油粕代替可能性、飼料自給率向上、配合飼料化や豚肉生産への流通の可能性を確認できた。

6 実施結果(おおよその時期、内容、場所及び対象)

① 高タンパク飼料用米試験栽培(別紙参照)

- ・ 試験者:遊佐地区6名、酒田地区2名
- ・ 試験圃場:遊佐地区(蔵岡杉沢、水上、高瀬)試験圃場 5.838ha、対象区 4.877ha、酒田地区(新田目)試験圃場 3.061ha、対象区 6.351ha
- ・ 試験品種:多収穫米専用品種ふくひびき
- ・ 試験方法:試験区は超窒素、楽々軽助くん一発、一発肥料の施肥による肥培管理。対象区は慣行肥料による肥培管理。4月～11月作付け後収穫し区分管理による収量・単収調査と飼料用米出荷規格(玄米+屑)による生産者別、肥培管理別サンプリング。

② 高タンパク米 成分分析(別紙参照)

- ・ 分析値:水分、タンパク値
- ・ 分析方法:11月試験区および対照区サンプルを日本食品分析センターへ分析依頼。他県産米品種(栃木)との比較試験も実施。
- ・ 分析結果:試験区のCPは現物7.3%、乾物8.5%、対照区のCPは現物7.0%、乾物8.2%であった。試験区別の結果は、酒田試験区:現物7.7%、乾物9.0%、遊佐楽々軽助くん:現物7.1%、乾物8.3%、超窒素543:現物7.2%、乾物8.5%、栃木専用種:現物6.7%、乾物7.9%、という結果であった。

③ 肥育豚給餌

- ・ 試験場所:株式会社平田牧場千本杉農場
- ・ 試験規模:肥育豚約500頭
- ・ 試験銘柄豚:平田牧場金華豚
- ・ 給与方法:2025年1月JA全農くみあい飼料株式会社石巻工場にて45%配合割合し、2025年2月3日より肥育後期に給餌。

7 助成金収入以外の収入

本事業における申請者 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会での試験における収入はない。また、試験に参加した耕畜連携団体間での飼料用米玄米の販売代金33円/kg、耕作者が対応している飼料用米生産に対しての水田活用の直接支払交付金、また配合飼料の生産販売代金、さらにブランド豚の生産販売代金は通常取引条件で対応され、本事業による差別化による加算収入はない。

8 事業の次年度以降の計画

2024年度試験検証を踏まえ、2025年度庄内飼料用米生産における実証展示事業として確立していく。

- 米のタンパク値を上昇させて飼料適性を高め、輸入依存度の高い大豆粕を少しでも削減する自給率の向上。
- 高タンパク化と同時に多収化を図ることで、生産調整品目として飼料用米の作付け面積拡大ができない中で飼料用米の数量確保につなげる。

2024年度は耕作者による高タンパク値飼料用米生産栽培技術試験とその飼料用米による豚肉生産における優位性について検証中であるが、庄内地域の豪雨災害による影響もあり、平時の試験として確認・追認できるよう2025年度についても同様、同規模の試験内容での検証実験として継続します。

2024年度上期より遊佐町及び酒田市内飼料用米水田圃場において8haの試験区とし、高タンパク値栽培技術の検証を実施。

タンパク値および水分の分析と飼料価値の確認を行い、下期高タンパク値飼料用米約50tを使用し輸入大豆油粕を減量調整した配合飼料設計で酒田市内の養豚場においてブランド豚約500頭を肥育、通常生産豚との比較試験を実施します。

- ① JA庄内みどりによる圃場栽培試験(庄内地域飼料用米生産に普及を前提とした試験)
- ② 飼料用米のタンパク値、水分検査
- ③ JA全農北日本くみあい飼料による配合飼料製造(NON-GM大豆油粕配合比減量調整)肥育後期約500頭分×190kg/頭＝約100t製造。
- ④ 平田牧場直営農場によるブランド豚肥育後期豚約500頭出荷分に給餌、期間成育調査、肉質検査と生活クラブ生協組合員による食味評価。

肥培管理の試験に伴い、肥料代の追加散布に関わる肥料代、人件費、並びに効果検証のための検査費用、豚肉品質比較試験に伴う検査費用、協議会開催費用等について交付要綱第3条の「農畜林水産物ほか食料生産の振興を図る新たな取り組み」に当てはまる事業計画として対応します。

2025年度(令和7年度)庄内自然エネルギー発電基金助成 採択事業

【一般公募者事業】 採択3事業

YouTubeを活用した地域史の動画制作事業

団体名 酒田ヒストリープロダクション 助成額 200,000円

身近なところからはじめるSDGs

個人ができるリユース、リペアの普及と資源回収に伴う調査

団体名 酒田でファイバーリサイクルをすすめる会 助成額 160,000円

地域における埋没文化再生プロジェクト

団体名 ねこやま社中 助成額 200,000円

【共同宣言5者事業】 採択4事業

買い物弱者対策検討事業

団体名 酒田市 助成額 1,516,000円

遊佐町農村環境保全機械整備事業

団体名 遊佐町 助成額 1,500,000円

庄内協議会高タンパク飼料用米栽培、給餌試験

団体名 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 助成額 1,700,000円

新アイガモロボ実証実験

団体名 生活クラブ庄内生活協同組合 助成額 550,000円

以上7事業

2026年度(令和8年度)庄内自然エネルギー発電基金助成事業 募集内容

令和8年度に実施する事業を令和7年度に募集。

生活クラブグループと庄内の生産者などが出資して設立された「庄内自然エネルギー発電株式会社」が、庄内・遊佐太陽光発電所の売電事業益を酒田市に寄附して設立された基金を活用して、庄内地域の持続可能なまちづくりに寄与する活動への助成を行うものです。

□助成事業の対象者

- (1) 庄内地域に専ら居住するか、近い将来に居住を予定する2名以上のグループ
- (2) 庄内地域に事業ないし活動の基盤を置く団体（法人を含む。）

□交付対象事業

- (1) 再生可能エネルギーにより地域の持続可能性を高める取組み
- (2) 農畜林水産物ほか食料生産の振興を図る新たな取組み
- (3) 住民生活における福祉、保健、医療、教育の増進を図る取組み
- (4) 地域の良好な自然環境や固有種動植物の保全に関する取組み
- (5) 郷土の歴史、民間伝承や文化・芸能等の保存継承に関する取組み
- (6) 「生涯活躍のまち」構想など、地域の定住人口と交流人口の増加に関する取組み
- (7) その他、当協議会が特に必要と認めたもの

募集スケジュールと審査

募集期間：令和7年7月1日（火）～令和7年9月30日（火）

（注）庄内自然エネルギー発電基金協議会が設置する学識経験を含むメンバーで構成される審査会を経て助成事業を内定します

- (1) 令和7年10月 助成事業選考審査会
※この事業は、令和8年3月の酒田市議会の令和8年度予算の成立を前提とします。
- (2) 令和8年4月 助成金交付申請書提出（事業開始）
- (3) 令和9年2月まで 事業完了期限 実績報告
- (4) 令和9年3月まで 助成金交付（事前交付についてはご相談ください。）

□助成率及び助成金額等

- (1) 助成枠：全体の助成枠は100万円程度、1件の助成限度基本額20万円以内
- (2) 助成件数：5件程度
- (3) 助成率：助成対象経費の10分の10以内

□助成対象経費

助成対象経費は、助成事業に専ら要する経費です。ただし、次のいずれかに該当する経費及びこれらに類する経費は対象外です。

- (1) グループや団体（以下、「団体等」という。）の経常的な活動及び運営に要する経費
- (2) 団体等の構成員に対する人件費及び謝礼
- (3) 食糧費(ボランティア謝礼的なものを除く。)
- (4) 建設費及び備品購入費

【問合せ先】 詳しくはこちらの窓口にお問い合わせください。

酒田市総務部市長公室	担当：国松	Tel 0234（43）8321
遊佐町企画課企画係	担当：高橋	Tel 0234（72）4523
生活クラブ連合会企画部	担当：渡辺	Tel 03（5285）1898

2026年度(令和8年度)庄内自然エネルギー発電基金協議会

助成事業選考審査会委員

委員長 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会顧問 伊藤由理子

委員 東北公益文科大学教授 古山 隆

委員 東北芸術工科大学教授 三浦 秀一

委員 酒田市総務部市長公室室長 佐藤 慶子

委員 遊佐町産業課長 太田 智光

委員 酒田市ボランティア・公益活動センター推進員 藤井 淳子

委員 遊佐町共同開発米部会事務局長 池田 恒紀

以上 7 名



庄内自然エネルギー発電基金協議会

事務局 株式会社平田牧場内

〒998-0853 山形県酒田市みずほ 2-17-8

Tel 0234-22-8612 Fax 0234-22-8603

✉ y.shirasaki@hiraboku.co.jp

✉ yumi.takahashi@hiraboku.co.jp